



KABANET



Facebook



LINE



Twitter



Blog

暮らしの相談
検索システム

発行日:令和3年4月28日(No.026)

発行所:トヨタ自動車労働組合

発行人:鬼頭 圭介

編集人:井出 悟

印刷所:㈱コタエンタプライズ共栄カパニー



裾野市が財政非常事態宣言を発出しました

市長は2021年2月15日、裾野市は財政非常事態宣言を発出しました。むしろ宣言せざるを得ない状況まで追い込まれた、ということだと理解しています。

私は2014年10月に初当選し、議員になって初めて自治体には「決算カード」がある、ということを知りました。現状把握の基本は時系列でデータを見ることです。すると裾野市の財政には近隣市町には無い異常な事象があることが見えてきました。それが「実質単年度収支」です。

裾野市の実質単年度収支の異常性を捕捉して以降、リーマンショック後の2010年からこれまでの12年間、実質単年度収支が連続して赤字になっていることを、以降データが見える化し一般質問で繰り返し、繰り返し指摘し続けてきました。

一般質問での回数は2015年2回、2016年3回、2017年3回、2018年4回、2019年3回、2020年3回＝6年間、合計18回を費やしていたにも関わらず、裾野市が財政非常事態宣言を発出せざるを得ない状況まで追

い込まれたことは痛恨の極みであり、12年間に渡る実質単年度収支の赤字を、改善に向かわせることが出来ず、あと5年早く実質単年度収支を改善に向かわせることが出来たら、と考えると地方議員として後悔しかありません。

いずれにせよ、財政非常事態宣言を市民サービスを見直す上で、職員が「葵の紋所」として使ってはならず、真因を特定し、市民へ正しく丁寧な説明をして、早急な改善を図ることが必要であり、それが財政非常事態宣言を出した高村市長の責任です。

2021年7月を目処に、財政非常事態宣言に対する対応策を取りまとめ議会、市民に公表するとの事です。今後の動向に注視していきます。

財政非常事態宣言が突然発出され、驚かれた市民も多いかと思います。議会も市長の突然の発出に驚き市議会史上初の「緊急質問」を実施し詳細を確認しました。

お気づきの事や不安な点などがありましたら、ご連絡を頂ければ幸いです。

報告① 通学路の安全対策（グリーンベルトの設置）が実施されました



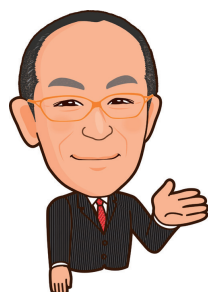
通学路の安全対策要望を、提出区の区長と通学路沿線の区長と連携頂き、改善が図られました。通学路の課題は通学距離が長くなるほど、多くの自治区が関連する課題となることから課題解決には、関連する区長のご協力と、提出区の区長のお力添えが欠かせません。

現在、国や県の政策方針も、通学路の安全対策の優先順位が高まっていることから、提出から比較的早期にグリー

ンベルトの設置が実現しました。

「道路の幅を広げて欲しい」ご相談を受ける時によく頂くご意見ですが、道路は家と家（民地と民地）の間を通っています。つまり、道路を広げるということは民地（財産）を譲って頂かなければ実現できないので、簡単ではありません。

今回のグリーンベルトや、時間帯の車両侵入規制など、複数の施策で安全対策を行うこともとても重要です。



提案を頂いた方々や、要望を真摯に受け止めて下さった区長と、早期に対応頂いた裾野市に感謝いたします！

声出し活動は、お互いが置かれた状況を理解し合いながら建設的な議論を重ねることが重要だということを改めて実感しました。

報告② 一般質問) 一般職の理事の役割・権限を見直すべき

質問事項を2点通告しながらも、持ち時間の全てを割いてこの質問を徹底的に掘り下げました。質問に対して執行部(高村市長、佐久間副市長、江藤理事)の誰が答弁するのか、答弁もチグハグな状況が見受けられとても残念でした。市政の根幹を担う、市長、副市長、理事が裾野市をどうしたいのか、どうしたかったのか議論が深まらず、今後の財政非常事態宣言に対峙する姿勢に不安を感じました。3月末で退任される佐久間副市長には、本来ならこれまでのお礼を申し上げるべきところですが、財政非常事態宣言を発出する事態を引き起こした特別職に対しては、これまでの振り返りを深めるために、厳しく質する事態となってしまいました……

質

江藤理事の担当に行財政構造改革がある。以前より行財政構造改革、ファシリティーマネジメントは1丁目1番地だと示しているが、遅々として進展が見える状況ではなく、結果として財政非常事態宣言を発出せざるを得なかったと言える。これは、佐久間副市長が江藤理事に対して命じてなかったからなのか、それとも佐久間副市長が進捗を確認していなかったのか、状況を考えを伺う。

答

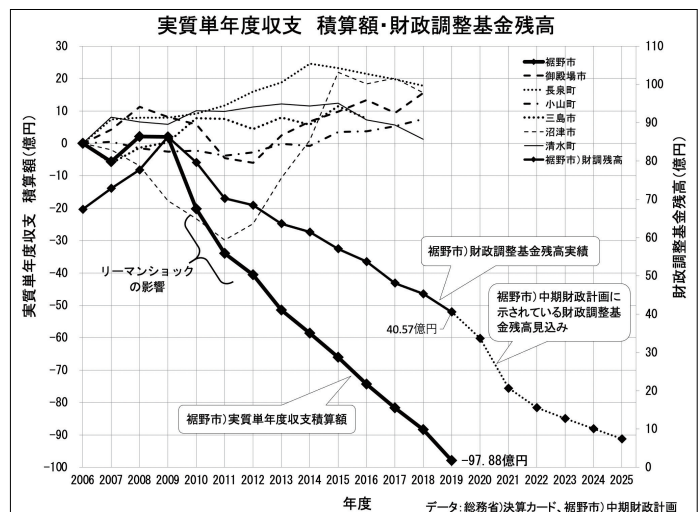
議員指摘のとおり、行財政構造改革の進捗が目に見えて進まなかったが、その責任は副市長にもあるし、担当の理事にもあると承知している。しかしそれぞれが役目を果たしていたと考えている。ただ、市長も述べた通り、結果として成果が出せなかったということである。補足だがファシリティーマネジメントは、人的リソースが弱く若干遅い部分があったと反省している。

質

一般職の理事に対して、特別職と遜色のない役割や権限を与えることは、地方公務員法が定める趣旨を鑑みてもバランスが悪いのみならず、副市長の存在意義が不明瞭になる懸念がある。裾野市は副市長の定数も2名と確保していることから、理事を役割を定める行政組織規則及び事務専決規程の見直しが必要ではないか。

答

議員の質問の趣旨は理解できる部分もあるが、理事の設置に至った経緯は、当時、緊急的な状況に迫られて設置したからである。当時と今とは、ウーブン・シティ予定地の用途地域の変更を成し遂げたとか、着工にこぎつけたとか、幾多の難関を乗り越えて無事完了した事柄も多いことも事実である。現在の状況が変化していることも確かであり、規則と規程の見直しは人事案件との関係の中で必要に応じて検討する。



報告③ 県立裾野高校で主権者教育(模擬請願の作成)に参加しました



主権者教育は、選挙権の付与年齢が18歳以上になった2015年から全国で行われています。高校在学中に18歳を迎える高校2、3年生を対象に行われており、県立裾野高校では、議会に提出する請願書の書き方を学び、実際に模擬請願書を書く授業を行っています。

前の週に個人のワークシートを作成し、当日はクラスの班ごとに請願項目を決め、署名した上で発表を行いました。正式な請願書を議会に提出するには、議員の紹介が必要と

なります。署名は請願の内容に責任を持ち、思い付きの要望ではなく、主権者として意見を述べる体験を通じて、行政や議会に主体的に関わることの自覚を持ってもらうことを目指しているとのことでした。

当日は、裾野市議会の議員と議会事務局の職員がアドバイザーとして参加し、請願の内容、実現までの流れなど、現職の議員の立場からアドバイスをさせて頂きました。このような活動を通じ、正式な請願書が議会に提出されれば素晴らしいです!実現することを心から願っています!

(編集後期)

3月定例会は嵐の様に怒涛の状態の中駆け抜けました。気付けは桜も例年よりかなり早く開花し、私の大好きなキャンプの時期が到来です。

今年こそはStayHome & 感染予防を意識しつつ、アウトドアが存分に楽しめればと思います。

